

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	おきなわインターナショナルデイサービス銘苅					公表日	令和 8年 3月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3	・クッションマットを敷いて、安全面を工夫しています。	・職員と児童の距離感は適切ですが、まれに児童からの距離感が近いと感じることがあります。 ・活動スペースが手狭に感じる場面もあるため、利用人数に合わせた活動内容を考えています。 ・事務所スペースの縮小、収納を増やす事での活動スペース確保等の環境整備を実施予定です。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1		・児童数に比べ職員が少ない時もありますが、法人内での人員の協力及び送迎や活動の工夫をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	5	・可能な範囲で視覚支援や配慮をしています。	・より視覚支援を取り入れることで、子どもたちが過ごしやすくなると感じます。(スケジュールの明確な可視化、言葉遣い等) ・今後は必要に応じて生活空間のバリアフリー化や視覚支援の取入れ、強化を図ってまいります。 ・物の配置や置き場所などの見直しが必要だと感じます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	・収納等をうまく活用しながら、少しずつ過ごしやすい環境になりました。 ・感染症対策として、玩具消毒や手指消毒だけでなく、事業所内や送迎車両内の換気をこまめに行うようにしています。	・感染症対策として、継続して玩具消毒や手指消毒だけでなく、事業所内や送迎車両内の換気をこまめに行うように努めます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	5	・活動部屋に個室がないので、必要に応じて相談室等を活用している。 ・事務所やキッチンを利用していることもある。	・1人の時間が欲しい時は事務所などで過ごすことになるので、児童の特性によっては落ち着くことが難しい場面があると感じます。代案も検討していきたいです。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	・ミーティングや面談にて随時行っています。 ・朝、昼、終礼等で各意見を共有、振り返りを行っています。 ・少しずつ全員がサイクル内に参画する流れになっていると思います。	・職員全体での課題の共有はできていると思いますが、振り返りや検討、その後の改善までの流れについてはもう少し検討が必要だと感じています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・毎年実施しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0	・日常的に話を聞いてもらえる環境が設けられています。 ・定期的な個別面談や必要に応じた複数回の面談、定時のミーティングで共有事項の確認を設けるように工夫されています。	・より細かく定期的に個人や全体など、多面的な意見を収集できる体制作りに努めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	・第三者の外部評価は行われていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	・希望者や法人内で選定された職員などに対する外部研修参加の機会が確保されています。 ・職員一人一人の時間やタイミングで興味関心のある研修を自由に受講できる環境が整っています。	・より幅広い研修や学びの場を設けて、各職員のスキルアップに努めます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	1	・玄関先に掲示しています。	・職員への周知が一部不足していることが把握できたので、今回の意見を踏まえてより周知理解が深まるよう努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・更新時やミーティングの際など、必要に応じてアセスメントを取っています。		

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	3	・計画に沿った支援を実施しています。	・職員個人だけでなく職員全体と一緒に計画内容や支援目標を定期的に確認する時間を設けるとよりいいと感じます。 ・各職員によって、支援計画の内容に対する理解度や解像度に差があることが確認できました。 ・現在取り組んでいる事柄や活動が、具体的に支援計画のどの部分に該当するのか適宜確認や振り返りを行い、職員間で正確な共通理解ができるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	・インフォーマルなアセスメントを実施し、グループLINEやその他記録を用いて理解共有に努めています。	・インフォーマルなアセスメントを実施し、グループLINEやその他記録を用いて理解共有に努めていますが、今回の意見を踏まえ、よりその行動や状況の理解と共通理解が深まるよう努めてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	・個別支援会議にて協議を行い「本人支援」「家族支援」「移行支援」を支援内容に反映して支援しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	・毎月や日毎にチーム会議を実施しています。 ・チーム分けをすることで、様々な意見を出し合っています。	・より幅広い意見や立案に繋げられるよう改善に努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	・基本的な活動を曜日等で毎月入れ替えながら実施することで、固定化しないように工夫しています。また、定期的にイベントや季節行事等も実施しています。 ・計画、立案を小グループで取り組むことで、様々な意見を出し合いながら取り組んでいます。 ・毎日のOIDTime担当を交代制で入れ替えているので、活動内容が固定化されないよう工夫されています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0	・自由時間に個別活動、OIDTimeで集団活動に充てられています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・ミーティングやグループLINE等を利用しながら、打ち合わせや共有等を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	・ミーティングやグループLINE等を利用しながら、打ち合わせや共有等を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	2	・ミーティングや個人記録とは別に、グループLINEを用いて記録や共有を図ることで、気付きや振り返り等の共有を図っています。	・支援の検証や改善についての意見を踏まえ、より支援の検証や改善に役立てられるよう、より具体的な詳細の共有や職員全体での振り返り等を繋げられるよう取り組んでまいります。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	・職員間で共有し、モニタリングに向けて話し合いの場を設けています。		
関係機関や保護	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0	・事前に職員全体から聞き取りした上で、管理者や管理者補佐など、児童の状況を理解した職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		・職員間での現状把握が不十分な部分があるため、関係機関と連携し支援体制を整える工夫をしていきます。 ・医療的ケア児がいないため医療機関等と直接的な関わりはないですが、利用児が使用している医療機関は職員間で情報共有しているよう努めてまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0		・お迎え時に少し話す程度であるため、お互いの情報を交換できる場を設けても良いと思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	・該当児童がいる場合は、必要に応じて対応できる体制を設けています。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					

者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					・事業所をより認知してもらうために、地域の児童発達支援センターとの連携をより深める機会を設けていきたいです。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	6			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	3			・今後、地域の他のこども達と活動できる機会が持てるようイベント等の企画を検討していきたいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・送迎時の申し送り、電話や公式LINE等でやりとりし、共通理解が持てるよう努めています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	8	・必要に応じたご家族への相談支援や助言等を行っています。		・今後、職員向けのペアレントトレーニングの研修や勉強会の取り組みや、ご家族に向けた研修の機会を検討していきたいです。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	・丁寧な対応や周知(掲示等)を行っています。		・丁寧な対応や周知(掲示等)を行っておりますが、ご意見を踏まえてより職員間でも理解できるよう、定期的なミーティングでの確認等を通して、より周知できるよう発信に力を入れてまいります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0	・保護者や児童本人にも要望を確認しながら作成しています		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	1	・児童発達支援管理責任者より保護者へ説明を行い、同意を得ています		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	・保護者より相談があった際には、その都度対応しています		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	7			・次年度、実施できるよう計画的に取り組んでまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0	・相談や申し入れに柔軟な対応を行っています。		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	・オフィシャルLINEやイベント予定表などを毎月発行しています。		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・個人情報等は施錠可能な棚に保管しており、職員間でも取り扱いには十分注意しています。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6			・地域との関わりが持てるようなイベント等を今後検討していきたいです。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1	・各種マニュアルを作成し事務所にて保管しております。お声かけて頂けますと閲覧できます。		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	・その場に合った対応を心がけています。 ・毎年内容確認及び更新を行い常に最新の状態になるよう努めています。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・職員間で「報連相」を行っています。 ・契約時に保護者への聞き取りを行い、職員間に共有しています。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	・該当児童がいる場合は、必要に応じて対応できる体制を設けています。		

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1	・安全計画を作成・掲示しており、保護者や職員への周知を行っております	・掲示スペースが少ない為事業所入口に冊子にて保管しているので、周知の尽力が必要。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	・日頃より公式LINEで連絡を取り合うなどしています。	・安全計画に基づいてご家族に周知できるよう、公式LINEだけでなく必要に応じて文書等も用いてより周知を心がけてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・発生時にはヒヤリハットを記載し、事業所内にて協議を行う。及び法人内でも共有を行い再発防止に努めています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	2	・ミーティングの際に適宜時間を設けて、周知に取り組んでいます。必要に応じて議事録等の回覧も行ってまいります。	・各委員会等の共有等を行っておりますが、周知理解が差が見られるので、より周知理解が進むようグループLINEや日常の児童対応の中から定期的にh売り変える場を意識的に設けていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2		・身体拘束が必要な児童はいませんが、今後利用するようであれば必要な知識を全体に周知していきます。